

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 音楽の都づくり関連グッズ作製及び配付事業	市民課窓口等で市作製の音楽関連グッズを配付する。	配付品作製総数	枚			3,000	3,000
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	H26実績
1 窓口配付総数	市民課窓口等で配付した年間総数	枚			3,000	4,750
2					1,250	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) B	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	市民課窓口での配付だけでは全てを配付しきれず平成25年度末の在庫数が1,750部である。事業趣旨から考えても、今後は配付の機会や対象者を拡充することが必要だと考え、「音楽の都づくり事業」の主管課との検討余地がある。また過剰に作製することを避けるためにも、事業期間内の在庫管理を行い、適正部数を作成するなどのコスト意識を持った改善を講じる。
昨年からの見直し・改善状況【32】	平成25年度からの取組みでもあることから、本年度になり見直し等を加えたものは無いが、次年度には必要な見直しを加えるための検討を行う。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	「音楽の都づくり」のマスコット「タマにゃん」のクリアファイル配布は、マスコットを市民に浸透させていく一つの方法であるが、そこまで認知度アップが上がっているとは思えないので、新庁舎のこけら落しの記念品として配布することや、イベントなどでの「ゆるキャラ」そのものの出番を増やしていく必要があると考える。	評価責任者 赤木 隆
------------------	---	---------------